

栗野 光一 チーム里浜づくり 世話人

阪神間で残された貴重な自然海岸の一つ御前浜は、往古より「御前の浜」と呼ばれ、今日に至るまで多くのドラマを生み出してきました。この自然海岸が育んできた海浜には陸生では見られない珍しい植物、干潟には渡り鳥の餌となる小動物や海草



などが数多く生息しています。この浜をフィールドとして、近隣小学校三年生の環境体験学習のサポートを年間通じて行っています。浜辺の歴史と自然、子どもたちの姿をお伝えします。

松重 摩耶 徳島大学院生

「青潮」をご存じでしょうか？アサリの水質浄化力はどれくらいあるのかご存じでしょうか？御前浜は大阪湾の湾奥に残された、数少ない天然浜の一つで、日本でも類をみないほどに、市民と海との関わりがみられる浜辺なのです。そんな御前浜で起こっている「青潮」の問題とそこに生息するアサリのパワーについて、わかりやすく、おもしろくご紹介したいと思います。



上月 康則 徳島大学教授

御前浜は私たちの宝物です。それは、「もし、御前浜が埋め立てられて工場地帯になっていたら？」と想像するとわかります。街はカラカラに乾き、大阪湾の海の環境はもっと悪くなっていただいでしょう。そして、こんな素敵な人たちとの出会いもなかったに違いありません。

大谷 洋子 西宮自然保護協会



西宮市には甲子園浜、今津浜、香櫛園浜と貴重な自然海岸が残されています。決してきれいな海辺とは言えませんが、多くの人々の善意により、その環境は保たれています。私たちは香櫛園浜を中心とした生き物調査を実施し記録しています。また大阪湾一斉調査を行い、日頃海辺へ来られない子どもたちにも生き物に触れることの楽しさを味わっていただき、どうい生き物が、どうい環境で住めるのかを実際に観察してもらっています。小さな生き物から大きな生き物まで、住める環境の大切さを考えていただけることを願っています。

川井 浩史 神戸大学教授、神戸大学内海域環境教育研究センター・センター長

大阪湾はふだん眺めるだけの存在という方も多いかもしれませんが。しかしその水環境やそこに生活する生物はとても多様で、またダイナミックに変化しています。どの地域・海域であれ自然環境の保全と再生、安全確保、さまざまな経済活動をどのようにバランスをとりながら進めるかは大変難しい問題ですが、まずはその現状を理解することが第一でしょう。ここでは、水質と海藻類という観点から大阪湾の水環境について話題提供をしたいと思います。



チーム里浜づくりとは…

チーム里浜づくりは、御前浜・香櫛園浜をフィールドとして、海浜植物、浜辺の生き物・渡り鳥などを教材とした近隣小学校の環境体験学習、「ビーチ・クリーニング」「浜辺であそぼ!」「海辺のひろっぱフェスタ」、サイン設置協力、調査研究をすすめています。会員(年会費千円)、ボランティア募集中。資料を希望の方にお送りします。詳しくはウェブへ <http://www.omaehama.org>

海と浜辺の未来を考えるフォーラム「大阪湾の再生と里浜づくり」

お申込み

①お名前 ②ご住所 ③電話番号 ④所属を、
FAX・メール・郵送のいずれかで下記へお送りください。

FAX **0798-35-9634**

メール **team-satohama@omaehama.org**

郵送 〒662-0993 西宮市西波止町1-2 マリーンスクエアM12号 チーム里浜づくり

問合せ

TEL.080-6165-0990 担当/栗野真造



西宮神社会館(阪神西宮駅5分)
西宮市社家町1-17 TEL.0798-23-3311